

平成 22 年度 学校法人 昭和大学 決算概要

平成 22 年度の主な事業として、富士吉田校舎教育施設整備用の土地取得、富士吉田校舎白樺寮を改修し P B L 教室を設置、新豊洲病院看護師寮用の土地取得、薬学部 6 年制ならびに医学部看護専門学校入学定員の増員に対応する新たな講義棟の建設着手、情報ネットワーク装置の更新および旗の台校舎全域への無線 LAN 拡充の整備、長津田総合運動場施設整備事業等を行いました。また、各附属病院の教育環境整備として、医療用機器備品を更新し、大学病院では、プレストセンターの開設および腫瘍センターの増床、中央棟 9 階の E R（総合診療）病棟改修工事を行い、横浜市北部病院では歯科室を設置するとともに、平成 23 年 3 月末日をもって閉校を決定した診療放射線専門学校の建物施設に院内助産施設を設置する検討に入りました。決算の概要は次の通りです。

1. 貸借対照表について

平成 23 年 3 月 31 日現在の財産状況を示します。固定資産(土地・建物・機器備品・特定預金他)と流動資産(現金預金・未収入金他)の資産の部合計は 1,853 億 6,750 万円で、前年度末と比べて 77 億 5,640 万円の増です。主な要因は、土地が 46 億 2,320 万円の増、建設仮勘定が 4 億 5,980 万円の増、有価証券が 41 億 490 万円の増、(特定資産内の有価証券と現金預金を交換したことによる増加)、退職給与引当特定資産が 2 億円の増、現金預金が 11 億 2,190 万円の増となっております。また、既存の建物・機器備品等の減価償却額 66 億 3,360 万円が前年度簿価より減少しています。一方、固定負債(長期借入金・学校債他)と流動負債(次年度借入金返済金・未払金他)の負債の部合計は 574 億 4,170 万円で、前年度末と比べて 43 億 7,140 万円増加しました。主な要因は、借入金の増加 56 億 3,180 万円、退職給与引当金の増加 2 億 6,380 万円によるものです。

資産の部合計から負債の部合計を差し引いた「正味財産」は 1,279 億 2,570 万円で、前年度より 33 億 8,490 万円増加しました。

2. 消費収支について

消費収入の部合計は 842 億円 7,040 万円で、基本金組入額 68 億 8,060 万円を除く帰属収入合計は 911 億 5,110 万円となります。予算と比べて学生生徒納付金、手数料、医療収入、寄付金、雑収入等が増、補助金収入および資産運用収入が減で、全体として 13 億 8,120 万円予算より増となっております。一方、消費支出は 877 億 6,610 万円で、予算と比べて、人件費が 1 億 510 万円減、教育研究経費が 13 億 9,090 万円減、管理経費が 1 億 8,070 万円増、借入金等利息が 5,270 万円減で、支出全体で 1 億 2,940 万円予算より増となります。また、帰属収支差額では、33 億 8,490 万円の収入超過となりました。前年度は 19 億 3,830 万円の収入超過でしたので、前年度よりも 14 億 4,660 万円の増益となります。結果的に消費収入から消費支出を引いた消費収支差額は、34 億 9,560 万円の支出超過となります。

3. 資金収支について

資金収支は、法人の諸活動に対応する全ての収入支出の内容を示します。当年度の資金収入は 1,087 億 8,470 万円、資金支出は 1,076 億 6,270 万円で、当年度の資金収支差額は 11 億 2,190 万円の収入超過でした。収入においては、予算と比べて、学納金収入は 3 億 7,220 万円の増、手数料収入は 4,730 万円の増、医療収入は 13 億 2,970 万円の増、寄付金収入は 20 万円の増、雑収入は 2 億 200 万円の増となり予算を達成しております。支出は、消費支出の経費のほか、土地、建物等の施設関係支出、教育研究用機器備品、図書などの設備関係支出があります。